

◆活動団体

団体名 益田歴史を活かしたまちづくりの会

連絡先 0856-22-5752

◆平成
26年度
活動内容

- 第13回歴史探訪ウォーキング（平成26年9月28日、参加者：120名）
 今回もウォーキングのみで実施、スタンプラリーや大声コンテストも実施した。
- 益田七尾まつり（平成26年11月3日、参加者：1500人）
 益田公時代行列、大・小行司行列、産業祭、レディース御輿等を実施、多くの観客を魅了した。
- 室町フェスティバル（平成26年11月1・2日 Grantow）
 中世の小宇宙「益田」を想い、Grantowで開催される室町フェスタに、手づくり鎧かぶと武者隊が出陣、今回は益田明誠高等学校生徒会が武者役を引き受けてくれ、来客の案内役として活躍した。
- 益田家文書展に出陣（平成26年10月15、25、26日 Grantow）
 中世益田氏の文書「益田家文書」が400年ぶりに里帰りした益田家文書展。記念に残るものをと、益田氏の花押（かおう）のスタンプでスタンプラリーを行った。手づくり鎧かぶと武者隊は、益田明誠高等学校生徒の応援を得て、スタンプラリーの案内役を行った。下記にも関連記事あり。

・第13回歴史探訪（9/28）



・室町フェスティバル（11/1、2）



・益田家文書展（10/15-11/24）



・益田七尾まつり（11/3）



H26
年度

・益田文書展（10/15-11/24）



中世益田の領主であった益田家には、質・量ともに全国屈指の古文書がのこされており、当時の益田、ひいては石見国の状況を現在に伝えているが、市民がこの文書を見ることのできる機会は決して多くない。平成26年11月に益田市は合併から10周年を迎える。これにあわせて「益田家文書」の里帰り展を実施し、市民が地域のルーツと文書原本から伝わる迫力を実感し、地域の歴史への関心を深める機会とすることで、歴史を活かしたまちづくりに向けた機運を醸成することを目的に開催された。